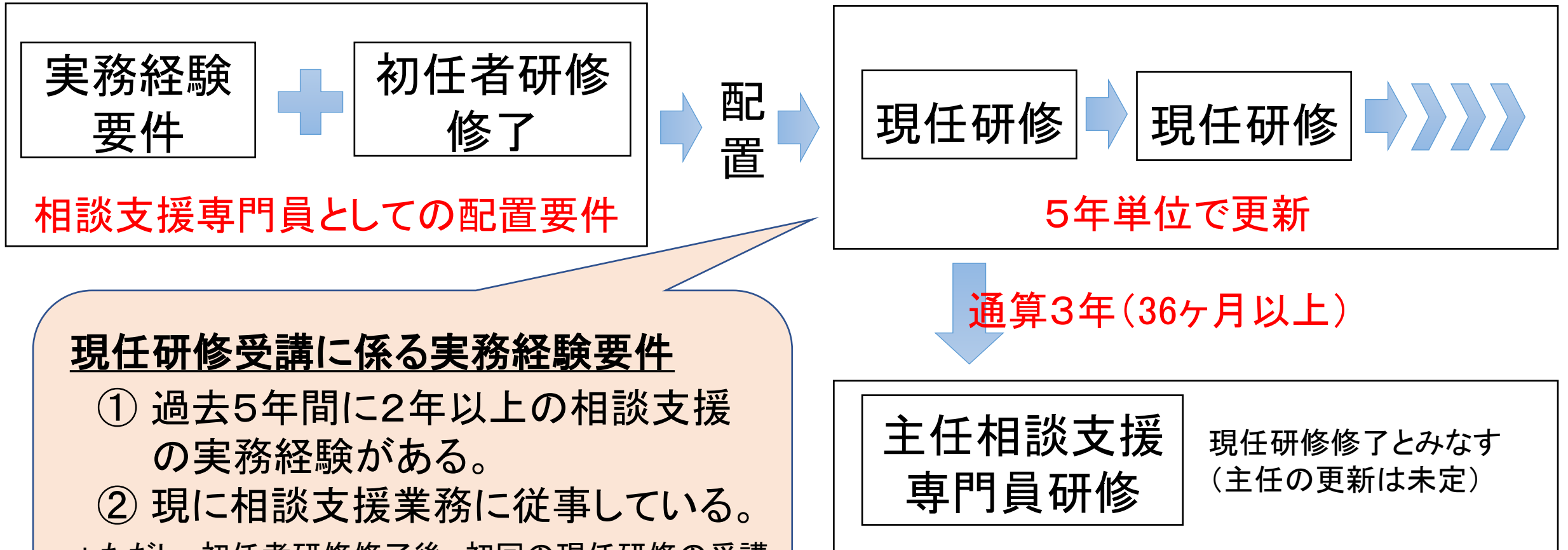


令和8年度 愛知県相談支援従事者現任研修 ガイダンス

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
相談支援部長・なごや高次脳機能障害支援センター参事
小島 一郎

相談支援専門員資格について




相談支援専門員としての配置要件

現任研修受講に係る実務経験要件

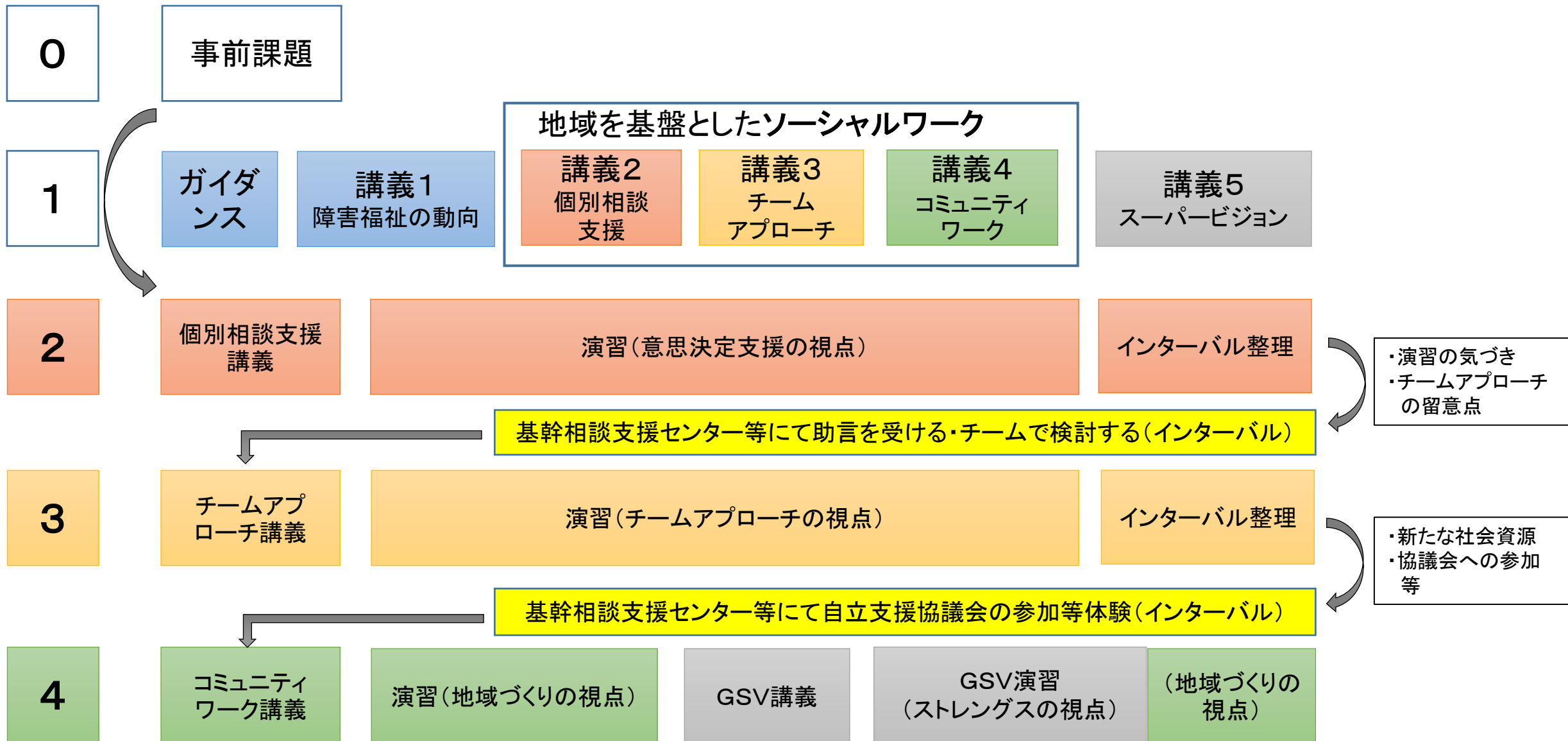
- ① 過去5年間に2年以上の相談支援の実務経験がある。
- ② 現に相談支援業務に従事している。

*ただし、初任者研修修了後、初回の現任研修の受講にあたっては、必ず①の要件を満たす必要がある。

相談支援専門員に求められる力(コンピテンシー)の想定

	初任者研修 (理解できる)	現任研修  (説明・実践できる)	主任研修 (指導できる)
価値(権利擁護・本人中心)	○	○	○
知識・技術(制度・障害特性)	△	○	○
個別ケース対応スキル(記録・関係構築・ケアマネ)	○	○	○
地域デザインの実践スキル(ネットワーク構築・地域診断と開発改善)	△	○	○
地域や事業所内の人材育成、運営管理のスキル(人材育成・協議会運営)		△	○

現任研修の構造



0

事前課題

1

ガイ
ダンス

講義1
障害福祉の動向

地域を基盤としたソーシャルワーク

講義2
個別相談
支援

講義3
チーム
アプローチ

講義4
コミュニティ
ワーク

講義5
スーパービジョン

2

個別相談支援
講義

演習(意思決定支援の視点)

インターバル整理

基幹相談支援センター等にて助言を受ける・チームで検討する(インターバル)

・演習の気づき
・チームアプローチ
の留意点

3

チームアプ
プローチ講義

演習(チームアプローチの視点)

インターバル整理

基幹相談支援センター等にて自立支援協議会の参加等体験(インターバル)

・新たな社会資源
・協議会への参加
等

4

コミュニティ
ワーク講義

演習(地域づくりの視点)

GSV講義

GSV演習
(ストレングスの視点)

(地域づくりの
視点)

現任研修の獲得目標

①相談支援の**基本的業務**を確実に実施できる。

意思決定(支援)を通して生きがいや自己肯定感を高める支援(ストレングス)、相談支援の技術と能力の獲得

②チームアプローチ(多職種連携)の理論と方法を学び、**実践においてチームアプローチが展開**できる。

チームアプローチ(多職種連携)を実践するための技術と能力の獲得

③コミュニティワーク(**地域とのつながり**や**インフォーマルサービスの活用、社会資源の開発等**)の理論と方法を理解し、実践できる。

地域に即した相談支援の**実践力**の獲得

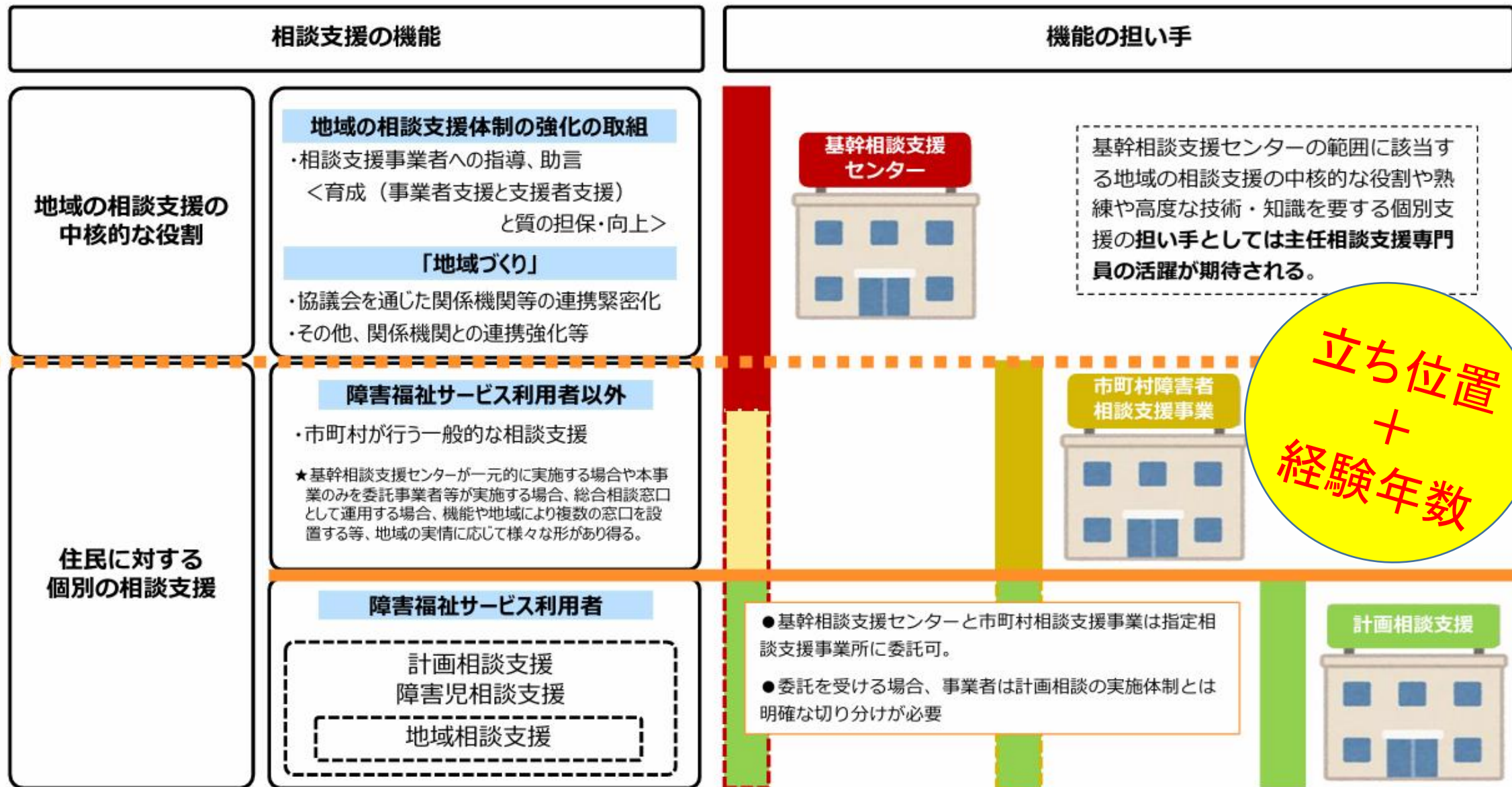
④グループスーパービジョンの理論と方法を学び、**実践事例を用いてグループスーパービジョンを体験**することで、自らの支援について**助言・指導を受けることの重要性を理解**する

インターバル実習のねらい

- ① 現任研修受講者の皆さんに、地域の相談支援体制を再確認してもらう。
 - ② 地域の相談支援体制の中核を担う方々に、現任研修受講者を知っておいてもらう。
 - ③ 研修中の実習課題に対して、中核を担う方々から地域性を踏まえた助言をしていただき、研修効果や受講者の満足度を向上させる。
- ◎ 資格更新研修として
 - 一人一人の相談支援専門員の**スキルアップの契機**
 - ◎ 地域の相談支援体制の強化
 - 「つながり」**こそが相談支援業務の本質の一つ
 - 研修自体に、**OJT**として「つながり」を組み込む

地域に必要な相談支援の機能と事業の役割（イメージ）

本イメージは構造理解のための、あくまで便宜的な図であり、正確性を期したものではない。



配信する講義と獲得目標

* 視聴確認について

ガイダンス	30分	研修全体の流れと獲得目標を理解する。
講義1. 障害福祉の動向	90分	障害者総合支援法等に関する最新の動向、障害児者及びその家族等の地域生活を支援していくに当たって、 関連する制度等を理解 する。
講義2. 個別相談支援	60分	相談支援の 基本姿勢等を再確認 するとともに、 個別の相談援助技術と地域援助技術の役割とそのつながりについて理解 する。
講義3. チームアプローチ	60分	
講義4. コミュニティワーク	60分	
講義5. スーパービジョン	90分	相談支援専門員の人材育成方法としての 経験から学ぶ省察的思考の重要性について理解 する。 具体的な実施方法として実践研究及びスーパービジョンの理論と方法について理解 する。

2日目以降(演習)の獲得目標

<p>2日目 個別相談支援とケア マネジメント</p>	<p>本人を中心とした個別相談支援に必要な技術について説明できる。また、自身の個別相談支援の実践の振り返りや、他の実践事例の検討を通じて、能力の向上を図る。</p>
<p>3日目 相談援助に求められる チームアプローチ (多職種連携)</p>	<p>他の多様な職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組織し、円滑に機能させるための技術の向上を図る。</p>
<p>4日目 地域をつくる相談支 援(コミュニティワー ク)の実践</p>	<p>地域をつくる相談支援の実践に必要な価値・知識・技術について理解を深める。また、自身の地域をつくる相談支援の実践の振り返りや、他の実践例の検討を通じて、地域援助の能力を獲得する。</p>

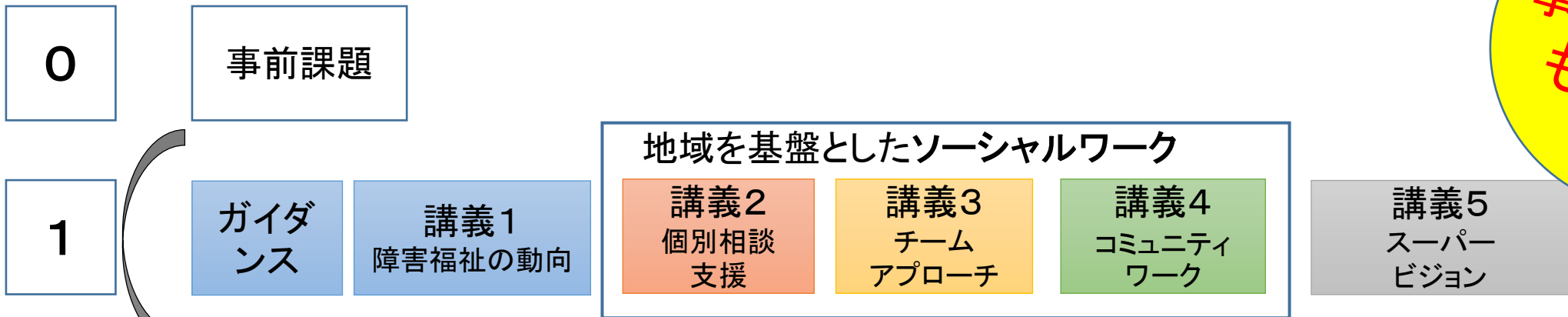
助言・指導を受ける重要性の理解

GSV
の
体
験



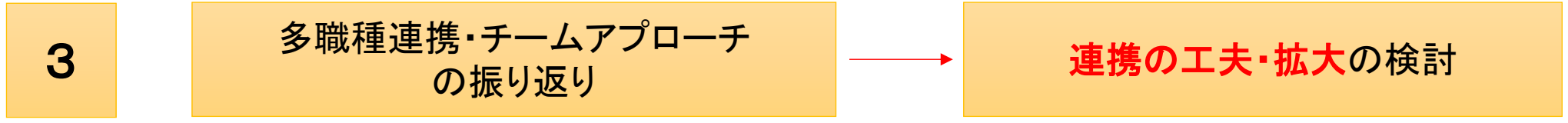
愛知県の現任研修の構造②

事例の選定も重要！



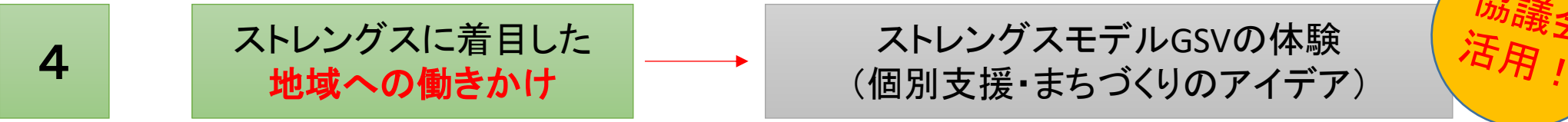
事例の再検討に向けたエコマップ作成①(関係者を表す)

インターバル①



エコマップの作成②(地域生活上のつながりを表す)

インターバル②



協議会活用！

2-(1)-① 相談支援のレベルと地域づくり

